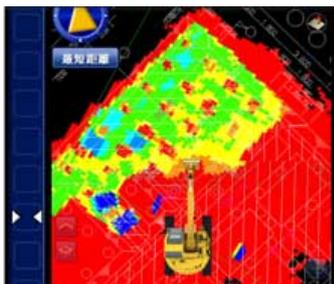


建築基礎掘削にスマートコンストラクション。広がる可能性



建築工事へICTを 新たなチャレンジ

今回の現場は、宮城県石巻市の月浜園地デジタルセンターの建設工事に伴う基礎掘削現場。三陸復興国立公園地域内のエコツーリズムの推進や環境教育を目的とした施設だそう。施工するのは加美郡加美町に拠点を置く丸か建設(株)様。導入の経緯を現場代理人の工藤晴美さんに聞いた。「弊社は、いち早くICT建機を土木工事に取り入れてきました。今回の建築工事でもICTを活用出来ないかと考え、掘削工程を担当する(株)大知建設の大友さんに相談したところ、同じように基礎掘削への導入を考えていましたので、この機会に新たなチャレンジを試みようとして導入を決めました。」と教えてくれた。担当営業は、「基礎杭が非常に多い点と、高低差も複雑な現場でしたので、クイックスマートコンストラクションを導入することで工数を削減する事ができると思い、提案させて頂きました。」と話した。



現場代理人 工藤春美さん



オペレータ 柴田勝己さん

((株)大知建設様)

宮城県 丸か建設(株)様

大正13年 創業

総合建設業者

地球の資源を大切に、

確かな技術と

品質で社会に貢献します。

<http://www.maruka-cons.co.jp/>

掲載月:2018年9月

先入観に囚われない 広がるICTの可能性

導入した感想を現場代理人の工藤さんに聞いた。「ICT建機は大規模な土木工事に適していると思っていましたが、今回、導入したことでオペレータの技術とICT建機の良いところが融合し、精度の高い施工と安全な現場が実現することが出来ました。基礎掘削現場でも使用できるという発想の転換でICT建機の可能性が広がりましたし、先入観に囚われずに新しい技術を取り入れた事でとても良い経験になりました。今後も新しい挑戦を続けて行きたいと思います。ICT建機の導入は建設業界で女性活躍の場を広げる事にも役に立つと考えます。」と笑顔で語った。ICT建機のオペレータ(株)大知建設の柴田勝己さんは、「今回の現場は、基礎杭が多い現場でしたので、作業が難航すると見込んでいましたが、導入したことで、位置出し作業も必要なくなり、大幅に工数が減りました。最初は使い方に戸惑いましたがすぐに慣れました。手元作業が減り、1人作業が出来たので、工数削減だけでなく安全性も上がりました。」と教えてくれた。

